

《上位計画等》

全国住生活基本計画

(令和8年3月改定予定)

議論の方向性

- ・ 2050年の住生活の姿を見据え、当面10年間に取り組む施策の方向性を議論
- ・ 住まうヒト、住まうモノ、住まいを支えるプレイヤーの視点別に検討

京都府総合計画(令和5年12月)

「あたたかい京都づくり」に向けた3つの視点と8つのビジョン

【安心】災害・犯罪等からの安心安全の実現

【温もり】子育て環境日本一・京都の実現
共生による環境先進地・京都の実現

【ゆめ実現】交流と連携による活力ある京都の実現

※住宅政策に特に関わりが強いもの大きいもの

《社会経済情勢・住宅政策に係る課題》

住宅政策をとりまく状況

- 住まうヒト : 人口・世帯構成の推移、少子化、高齢者も含めた単身世帯の増加(孤立化)、多様な住まい方
- 住まうモノ : 空家の増加、既存ストックの魅力向上や有効活用・更新、脱炭素社会推進、防災・減災対策
- 住まいを支えるプレイヤー: 府・市町村や公営・民間住宅の役割分担、住生活を支える担い手の活動支援

府営住宅は住宅政策の核となるため京都府住生活基本計画の見直しとあわせて検討

京都府住生活基本計画

(令和9年3月改定予定)

京都府総合計画に示された20年後に実現したい京都府の将来像の形成に向けた「今後10年の住宅政策のあり方」を踏まえ今後検討

京都府府営住宅等長寿命化計画

(令和9年3月改定予定)

住宅セーフティネットの核として適切な機能が発揮できるよう「今後10年間の府営住宅のあり方」を踏まえ今後検討